



NAO TO & 清塚 信也

SHINYA KIYOZUKA

アコースティック・デュオコンサート

2020年 5月28日(木) ノバホール・大ホール

茨城県つくば市吾妻1-10-1 (つくばエクスプレス「つくば駅」下車 A3出口より徒歩3分)

開場18:00 開演18:30 全席指定 ¥6,000(税込)

3歳以下入場不可。4歳以上はチケット必要。指定席から車椅子席への振替は致しかねますのでご注意ください。

プレイガイド
3月15日発売開始

- ノバホール 029-852-5881 (受付時間9:00~20:00) ※毎週月曜休業 ※発売初日は電話予約のみ
- チケットぴあ (Pコード: 175-582) 0570-02-9999
- ローソンチケット (Lコード: 31414) <https://l-tike.com/>
- CNプレイガイド 0570-08-9999
- セブンチケット (セブン-イレブン店頭マルチコピー機よりセブンチケットにてお求めください)
- イープラス <http://eplus.jp/>
- MASエンターテイメント (<https://www.mas-e.com>) 03-5746-9900

主催: MASエンターテイメント 協力: ユニバーサル ミュージック 企画/制作: bluesofa、トライストーン・エンタテイメント、キョードーファクトリー

お問い合わせ MASエンターテイメント 03-5746-9900(平日11:00~18:00)



大阪出身。東京芸術大学附属音楽高校、同大学音楽学部器楽科卒業。クラシックからポップスまでジャンルにとらわれない音楽センス、ブリッジをしながらの演奏など華麗なパフォーマンスで人気を博す。人気ドラマ「のだめカンタービレ」では、オーケストラの選考から携わり、吹替演奏、楽曲提供、ゲスト出演も果たし一躍注目を集めた。2005年にEPICレコードより「Sanctuary」でメジャーデビューし、2017年に自身のレーベルを立ち上げた。2019年1月に通算9枚目の新譜「Polyvalent」を発表。テレビ朝日「関ジャム～完全燃SHOW～」でNAOTOが披露した話題となったTM NETWORK「Get Wild」をヴァイオリンのみで多重録音した斬新なアレンジで新録し、人気ピアニスト清塚信也を客演に迎えたTEAM NACS最新舞台音楽など、泣かせるバラードから、先鋭なロック、荘厳なオーケストラまでを収録し、あらゆるジャンルを包摂したアルバムとなった。ライブの種類は様々で、自身の活動の軸となるバンド編成によるポップス&ロックな公演から、ピアニストとデュオ編成でお送りするクラシック+生音を基調とした公演まで幅広く活動している。アーティストからの信頼も厚く、近年では、宇都宮隆、大黒摩季、押尾コータロー、世良公則、ポルノグラフィティ、グレン・ミラーオーケストラ、ASIAN KUNG-FU GENERATIONのステージにゲスト参加し、華を添えた。また、これまで培った経験を活かし、楽曲の編曲&プロデュース、イベントライブや有名アーティストの音楽監督を担当。自身がホスト&プロデュースをしているロックボーカリストと弦楽四重奏によるコラボライブ“Rockin' Quartet”を定期的で開催している。作曲家として、NHK「スタジオパークからこんにちは」を始めとするテレビ番組やCMなどに書き下ろし楽曲を提供し、大泉洋、安田顕他が所属する演劇ユニットTEAM NACSの主宰公演など多数の舞台音楽を担当。東日本大震災以降、福島県須賀川市の小中学校を定期的に訪問し、NAOTOの活動が認められ、2015年に須賀川観光社丹大使に就任。日本スーパカレー協会理事、カレーマイスターの資格取得、ラジオパーソナリティなど活動は多種多彩。2019年9月にポルノグラフィティのデビュー20周年東京ドーム公演にシークレットゲスト出演、SNS上で話題になり、Twitter世界トレンドで第1位。また、Schick「ハイドロ5カスタムコンフォート」のスペシャルムービーに出演、250万再生を突破した。2020年にデビュー15周年を迎え、ますます進化を続けるNAOTOにさらなる注目が集まっている。

NAOTO公式サイト
<https://naoto-poper.com>



5歳よりクラシックピアノの英才教育を受ける。中村絃子、加藤伸佳、セルゲイ・ドレンスキーに師事。桐朋女子高等学校音楽科(共学)を首席で卒業後、モスクワ音楽院に留学。1996年第50回全日本学生音楽コンクール全国大会中学校の部第1位。2000年第1回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 第1位、2004年第1回イタリアピアノコンクール金賞、2005年日本ショパン協会主催ショパンピアノコンクール第1位など、国内外のコンクールで数々の賞を受賞。人気ドラマ「のだめカンタービレ」にて玉木宏演じる「千秋真一」、映画「神童」では松山ケンイチ演じる「ワオ」の吹き替え演奏を担当し、脚光を浴びる。ポーランド国立放送交響楽団、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団他、数多くのオーケストラとの協演する傍ら、知識とユーモアを交えた話術と繊細かつダイナミックな演奏で全国の聴衆を魅了し続け、年間100本以上の演奏活動を展開。2013年には映画「さよならピュッシー」で岬洋介役として俳優デビューし、2015年9月公開映画「ポプラの秋」(主演:本田望結)ではメインテーマおよび劇伴音楽の作曲&演奏を手掛け、TBS系 金曜ドラマ「コウノドリ」(2015)(2017)(主演:綾野剛)ではピアノテーマおよび監修を手掛けるほか、ライブハウスのマネージャー役でも出演。2017年1月公開映画「新宿スワンII」(主演:綾野剛)、2018年5月に東京・日生劇場ほかで開催した舞台「シラノ・ド・ベルジュラック」(主演:吉田鋼太郎)では劇中音楽を担当するなど作曲家としても活動の幅を広げ、「Fantasy onice」(2017)(2018)では、世界的なフィギュアスケーター(ステファン・ランビエル、ジョニー・ウィア、羽生結弦選手など)と共演するほか、近年では、TVバラエティ番組やラジオ番組へ出演するなど、マルチピアニストとして活躍。2018年12月発売のアルバム「connect」がサウンドスキャン・クラシックチャートで1位を獲得。現在発売中の最新アルバム「SEEDING」では初のオリジナル・バンド曲に挑戦するなど新たな一面も見せつつ、2019年8月16日には邦人男性クラシック・ピアニストとしては史上初となる日本武道館での単独公演を開催。同年、第70回NHK紅白歌合戦に「糸」(島津亜矢と共演)で初出演。2020年1月13日より47都道府県ツアー「名曲宅配便～ピアノが奏でる特別な時間～」を開催中。

清塚信也公式サイト
<http://tristone.co.jp/kiyozuka/>(メールマガジン登録受付中)